

(様式第 10)

産医大発 210162 号
令和 3 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

学校法人産業医科大学
開設者名 生田 正之

産業医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ケ丘1番1号
氏 名	学校法人 産業医科大学 理事長 生田 正之

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

産業医科大学病院

3 所在の場所

〒807-8556 福岡県北九州市八幡西区医生ケ丘1番1号	電話(093)691-7301
----------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 呼吸器内科		
2 消化器内科		
3 循環器内科		
4 腎臓内科		
5 神経内科		
6 血液内科		
7 内分泌内科		
8 代謝内科		
9 感染症内科		
10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
11 リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 6心臓血管外科 7内分泌外科 8小児外科		
診療実績		

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科		
歯科の診療体制		

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1リハビリテーション科 2形成外科 3病理診断科

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	床	床	床	638床	678床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	444人	69人	452.6人	看護補助者	74人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	2人	11.1人	理学療法士	19人	臨床検査技師	51人
薬 剤 師	43人	0人	43人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	1人	0人	1人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	44人	0人	44人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	797人	30人	822.8人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	18人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	20人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	0人	事務職員	128人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	43人	その他の職員	9人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	44人	眼科専門医	8人
外科専門医	31人	耳鼻咽喉科専門医	6人
精神科専門医	10人	放射線科専門医	16人
小児科専門医	15人	脳神経外科専門医	7人
皮膚科専門医	4人	整形外科専門医	16人
泌尿器科専門医	8人	麻酔科専門医	10人
産婦人科専門医	15人	救急科専門医	7人
		合 計	197人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (田中 文啓) 任命年月日 令和 2年 4月 1日

- ・医療安全管理委員会委員 (平成26年4月1日～平成29年3月31日、令和2年4月1日～)
- ・医療安全管理責任者 (平成 28年 10月 1日～平成 29年 3月 31日)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	438.6人	2.9人	441.5人
1日当たり平均外来患者数	1389.8人	49.9人	1339.9人
1日当たり平均調剤数	1,009.0剤		
必要医師数	121.8125人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	15人		
必要(准)看護師数	269人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	人工呼吸装置	心細動除去装置
集中治療室	268.44m ²	鉄筋コンクリート	10床	有・無	有・無	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 161.5m ² [移動式の場合] 台数 7台		病床数	13床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 16.96m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	175.41m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、冷蔵庫、冷凍庫 他			
細菌検査室	66.41m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、全自動培地塗抹装置 他			
病理検査室	71.69m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) バーチャルスライド作成機、免疫染色装置 密閉式、自動固定包埋装置 他			
病理解剖室	58.53m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 特殊解剖台、排水細菌システム			
研究室	2,233.3m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 実験台、冷蔵庫、冷凍庫、パソコン、測定・分析装置 他			
講義室	1,203.5m ²	鉄筋コンクリート	室数 10室	収容定員 1,122人		
図書室	2,480.0m ²	鉄筋コンクリート	室数 1室	蔵書数 125,019冊程度		

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	87.4%	逆紹介率	83.0%
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,867人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,891人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		657人
	D: 初診の患者の数		14,334人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤田 昌樹	(学)福岡大学	○	医療に関する院外の専門家	有・無	1
押川 麻美	(学)福岡大学		医療に関する院外の専門家	有・無	1
大杉 一之	(大)北九州市立大学		医療を受ける者その他の医療従事者以外の院外の者	有・無	2
阿部 慎太郎	(学)産業医科大学		病院長が指名する本学職員	有・無	1
篠原 正行	(学)産業医科大学		本学病院事務部長	有・無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 産業医科大学病院ホームページ上に公開	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名		患者数	
1	球脊髄性筋萎縮症	1	61	下垂体性PRL分泌亢進症	14		
2	筋萎縮性側索硬化症	13	62	クッシング病	4		
3	脊髄性筋萎縮症	2	63	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	22		
4	原発性側索硬化症	2	64	下垂体前葉機能低下症	89		
5	進行性核上性麻痺	5	65	先天性副腎皮質酵素欠損症	2		
6	パーキンソン病	202	66	サルコイドーシス	51		
7	大脳皮質基底核変性症	2	67	特発性間質性肺炎	44		
8	ハンテントン病	2	68	肺動脈性肺高血圧症	9		
9	神経有棘赤血球症	1	69	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7		
10	シャルコー・マリー・トウス病	3	70	網膜色素変性症	6		
11	重症筋無力症	94	71	特発性門脈圧亢進症	2		
12	多発性硬化症／視神経脊髄炎	83	72	原発性胆汁性胆管炎	57		
13	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10	73	原発性硬化性胆管炎	3		
14	封入体筋炎	6	74	自己免疫性肝炎	11		
15	クロー・深瀬症候群	1	75	クローン病	69		
16	多系統萎縮症	11	76	潰瘍性大腸炎	108		
17	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	46	77	好酸球性消化管疾患	1		
18	ライソゾーム病	3	78	チャージ症候群	1		
19	副腎白質ジストロフィー	2	79	若年性特発性関節炎	4		
20	ミトコンドリア病	1	80	非典型溶血性尿毒症症候群	1		
21	もやもや病	22	81	筋ジストロフィー	1		
22	HTLV-1関連脊髄症	10	82	遺伝性ジストニア	2		
23	全身性アミロイドーシス	28	83	前頭側頭葉変性症	1		
24	遠位型ミオパチー	1	84	アレキサンダー病	1		
25	神経線維腫症	9	85	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1		
26	天疱瘡	15	86	ランドウ・クレフナー症候群	1		
27	表皮水疱症	1	87	スタージ・ウェーバー症候群	1		
28	膿疱性乾癬(汎発型)	17	88	結節性硬化症	1		
29	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	89	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12		
30	高安動脈炎	18	90	弾性線維性仮性黄色腫	2		
31	巨細胞性動脈炎	13	91	ウィルソン病	7		
32	結節性多発動脈炎	14	92	クルーゾン症候群	2		
33	顕微鏡的多発血管炎	24	93	急速進行性糸球体腎炎	3		
34	多発血管炎性肉芽腫症	28	94	一次性ネフローゼ症候群	6		
35	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	22	95	紫斑病性腎炎	2		
36	悪性関節リウマチ	57	96	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1		
37	バーシャー病	6	97	オスラー病	3		
38	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	98	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1		
39	全身性エリテマトーデス	341	99	偽性副甲状腺機能低下症	1		
40	皮膚筋炎／多発性筋炎	111	100	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	1		
41	全身性強皮症	161	101	尿素サイクル異常症	1		
42	混合性結合組織病	66	102	家族性地中海熱	3		
43	シェーグレン症候群	57	103	慢性再発性多発性骨髄炎	4		
44	成人スチル病	21	104	強直性脊椎炎	39		
45	再発性多発軟骨炎	8	105	リンパ管腫症／ゴーハム病	1		
46	ベーチェット病	82	106	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1		
47	特発性拡張型心筋症	15	107	ファンconi貧血	1		
48	肥大型心筋症	3	108	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	3		
49	再生不良性貧血	18	109	クロンカイト・カナダ症候群	2		
50	自己免疫性溶血性貧血	4	110	IgG4関連疾患	13		
51	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	111	遅発性内リンパ水腫	2		
52	特発性血小板減少性紫斑病	23	112	好酸球性副鼻腔炎	31		
53	原発性免疫不全症候群	4	113	進行性ミオクローヌステんかん	1		
54	IgA腎症	18	114	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1		
55	多発性嚢胞腎	13	115	特発性多中心性キャッスルマン病	11		
56	黄色靱帯骨化症	8					
57	後縦靱帯骨化症	57					
58	広範脊柱管狭窄症	30					
59	特発性大腿骨頭壊死症	18					
60	下垂体性ADH分泌異常症	12					

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び 歯科治療時医療管理加算	・ウイルス疾患指導料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタ リング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イ
・がん患者指導管理料ロ	・がん患者指導管理料ハ
・がん患者指導管理料ニ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・院内トリアージ実施料
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看 護体制加算	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1	・医療機器安全管理料2
・医療機器安全管理料(歯科)	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管 理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・遺伝学的検査	・骨髄微小残存病変量測定
・BRCA1/2遺伝子検査	・がんゲノムプロファイリング検査
・先天性代謝異常症検査	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・検体検査管理加算(IV)	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・長期継続頭蓋内脳波検査
・脳波検査判断料1	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・神経学的検査	・補聴器適合検査
・全視野精密網膜電図	・ロービジョン検査判断料
・コンタクトレンズ検査料1	・内服・点滴誘発試験
・CT透視下気管支鏡検査加算	・画像診断管理加算3

・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・CT撮影及びMRI撮影
・冠動脈CT撮影加算	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・頭部MRI撮影加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・外来化学療法加算1
・連携充実加算	・無菌製剤処理料
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・認知療法・認知行動療法1	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・医療保護入院等診療料	・硬膜外自家血注入
・人工腎臓	・導入期加算1
・透析液水質確保加算2及び慢性維持透析濾過加算	・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
・CAD/CAM冠	・センチネルリンパ節加算
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・椎間板内酵素注入療法
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・角膜移植術(内皮移植加算)	・羊膜移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・網膜再建術	・人工中耳植込術
・人工内耳植込術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの) 内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 陰腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・植込型除細動器移植術又は植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。)
・輸血管管理料Ⅱ	・輸血適正使用加算
・コーディネート体制充実加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・同種クリオプレシピテート作製術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・放射線治療専任加算	・外来放射線治療加算
・高エネルギー放射線治療	・1回線量増加加算(乳房照射・前立腺照射)
・強度変調放射線治療(IMRT)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・体外照射呼吸性移動対策加算	・定位放射線治療
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・画像誘導密封小線源治療加算
・病理診断管理加算2	・デジタル病理画像による病理診断
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科矯正診断料	・

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	ヒトB細胞分化におけるアミノ酸を介した免疫代謝機構の解明～SLE新規治療の創出～	岩田 慈	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
2	ヘルパーT細胞におけるエピゲノム記憶の人為的修復によるSLE新規治療戦略の創出	中山田 真吾	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
3	ヘルパーT細胞を介した免疫誘導性間葉転換のエピゲノム制御による免疫難病の新規治療	宮崎 佑介	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
4	終末糖化産物を介した低骨代謝回転型糖尿病性骨粗鬆症の分子制御機構の解明と治療応用	田中 健一	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
5	化学遺伝学的手法を応用したオキシトシンと摂食の概日リズム・食嗜好性連関の解明	園田 里美	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
6	ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	宮川 一平	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥50,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
7	ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥50,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
8	我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究	中野 和久	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥240,000	補 厚生労働科学研究費補助金(免疫・アレルギー疾患政策研究事業)
9	ベーチェット病に関する調査研究	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥400,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
10	IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
11	自己免疫疾患に関する調査研究	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
12	全身性エリテマトーデス(SLE)の自然免疫系と自己免疫系の連関に中心的に関与する因子を特定するための臨床研究	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,925,000	委 日本医療研究開発機構
13	血糖変動と心血管イベント発症の関連性を検討する前向き観察研究	岡田 洋右	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,100,000	委 日本医療研究開発機構
14	検体および臨床データ回収、患者レジストリ構築	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥100,000	委 日本医療研究開発機構
15	顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの有効性、安全性、薬物動態に関する医師主導治験	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥300,000	委 日本医療研究開発機構
16	免疫オミクス情報の横断的統合による関節リウマチのゲノム個別化医療の実現	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥2,700,000	委 日本医療研究開発機構
17	ベーチェット病の病態解明および治療法開発を目的とした全国レジストリの構築	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥230,770	委 日本医療研究開発機構
18	次世代ゲノミクス研究による乾癬の疾患病態解明・個別化医療・創薬	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥3,500,000	委 日本医療研究開発機構
19	高齢慢性心不全患者における心臓リハビリテーション中断の影響	荒木 優	循環器内科、腎臓内科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
20	左室拡大合併による僧帽弁逸脱の偽正常化現象	岩瀧 麻衣	循環器内科、腎臓内科	¥400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
21	左室収縮不全における僧帽弁尖組織延長の心不全軽減効果:3次元心エコー法による検討	赤司 純	循環器内科、腎臓内科	¥1,800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
22	3次元心エコー図を用いた奇異性低圧較差重症大動脈弁狭窄症における自然歴の解明	鍋嶋 洋裕	循環器内科、腎臓内科	¥1,900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
23	肺動脈性肺高血圧症の分子遺伝学的診断治療ガイドラインに向けたエビデンス創出研究	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥6,384,598	委 日本医療研究開発機構
24	洞不全症候群の臨床情報・遺伝学的解析に基づくリスク層別化アルゴリズムの開発	安部 治彦	循環器内科、腎臓内科	¥100,000	委 日本医療研究開発機構
25	福岡県遠賀郡芦屋町における児童生徒の保健管理に関する調査研究	尾辻 豊	循環器内科、腎臓内科	¥1,000,000	委 福岡県遠賀郡芦屋町
26	実地臨床におけるエベロリムス溶出性ステント(XIENCE V™)とシロリムス溶出性ステント(CYPHER SELECT™+ステント)の有効性および安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験:長期追加試験	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥396,000	委 (公財)生産開発科学研究所
27	至適な血管内超音波ガイド経皮的冠動脈インターベンションの複雑性病変における臨床経過を評価する前向き観察研究【OPTIVUS研究】	尾辻 豊	循環器内科、腎臓内科	¥262,800	委 (公財)生産開発科学研究所
28	脂肪性肝疾患での小胞体ストレス、Mallory-Denk体とオートファジーの意義	原田 大	消化管内科、肝胆膵内科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
29	全ての操作を遠隔化した消化器内視鏡治療ロボットの開発	久米 恵一郎	消化管内科、肝胆膵内科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
30	非アルコール性脂肪肝におけるオートファジー障害機序の解明-カルシウム動態の関与-	宮川 恒一郎	消化管内科、肝胆膵内科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
31	NAFLD/NASHにおける小胞体ストレス及びオートファジー関連機序の解明	林 倫留	消化管内科、肝胆膵内科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
32	肝細胞における銅や遊離脂肪酸による細胞障害に対する重鉛の保護作用の検討	草永 真志	消化管内科、肝胆膵内科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
33	一般細菌・抗酸菌・真菌の網羅的菌叢解析による下気道感染症の病態の解明	矢寺 和博	呼吸器内科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
34	新規低分子化合物HUP0381の肺線維症治療薬としての応用を目指した研究	加藤 香織	呼吸器内科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
35	使用デバイスと麻酔法の工夫による低侵襲で安全かつ確実な気管支鏡検査法の確立	内村 圭吾	呼吸器内科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
36	慢性好酸球性肺炎における好酸球特異的自己抗体の検索	川端 宏樹	呼吸器内科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
37	マクロファージ貪食能に基づく肺非結核性抗酸菌症の新たな治療戦略	山崎 啓	呼吸器内科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
38	PD-1/Tim-3発現T細胞に着目したがん免疫療法関連薬剤性肺炎の機序解明	田原 正浩	呼吸器内科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
39	慢性肺アスペルギルス症の病態における細菌叢、宿主因子としてマクロファージの検討	池上 博昭	呼吸器内科	¥1,500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
40	有機高分子化合物の肺への有害性の検証	原 可奈子	呼吸器内科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又は委託元
41	架橋型アクリル酸系水溶性高分子化合物の粉体を取り扱う労働者に発生した呼吸器疾患に関する研究	矢寺 和博	呼吸器内科	¥11,540,000	補	厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金(呼吸器疾患関連研究分野)
42	超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究	矢寺 和博	呼吸器内科	¥400,000	委	日本医療研究開発機構
43	神経変性疾患の病因蛋白質の毒性軽減による病態抑止治療法の開発	足立 弘明	脳神経内科	¥1,100,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
44	摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	兒玉 直樹	脳神経内科	¥1,500,000	委	日本医療研究開発機構
45	糖尿病病態生理モデルに基づくうつ病の病態解明と治療法開発に関する研究	吉村 玲児	神経・精神科	¥800,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
46	向精神薬服用中の患者群での運転技能評価	吉村 玲児	神経・精神科	¥1,000,000	委	日本医療研究開発機構
47	うつ病層別化のための血漿メタボロームと脳画像を組み合わせたバイオマーカー開発	吉村 玲児	神経・精神科	¥846,154	委	日本医療研究開発機構
48	光遺伝学的アプローチによる神経分泌ニューロンへのシナプス入力修飾メカニズムの解明	石井 雅宏	小児科	¥1,100,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
49	結合型肺炎球菌ワクチン低応答例の免疫学および細菌学的要因の検討と早期同定法の確立	保科 隆之	小児科	¥1,000,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
50	次世代シーケンサーとクローンライブラリー法によるPFAPA症候群の咽頭細菌叢解析	楠原 浩一	小児科	¥1,300,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
51	重症心身障害児(者)の理想的な定期入院体制を解明する研究	福田 智文	小児科	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
52	抗がん化学療法後の結合型肺炎球菌ワクチン低応答症例の宿主および細菌学的要因の解明	加藤 稚子	小児科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
53	JMMLに対する標準的治療法確立	本田 裕子	小児科	¥231,000	委 日本医療研究開発機構
54	HABP2を介した膵癌悪性進展メカニズムの解明による膵癌新規治療戦略の開発	秋山 泰樹	消化器・内分泌外科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
55	膵癌における組織および消化管microbiomeの関連性解明と診断治療への応用	厚井 志郎	消化器・内分泌外科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
56	肺癌症例における免疫チェックポイント阻害剤有害事象とHLAタイプとの関連について	平良 彰浩	呼吸器・胸部外科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
57	肺癌における新開発マイクロ流路システムを用いた循環腫瘍細胞の検出と臨床応用	田中 文啓	呼吸器・胸部外科	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
58	胸部悪性腫瘍における免疫微小環境のモニタリングに関する研究	田中 文啓	呼吸器・胸部外科	¥350,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
59	悪性脳腫瘍における5-アミノレブリン酸の放射線治療増強効果のメカニズムの解明	山本 淳考	脳神経外科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
60	くも膜下出血後の脳損傷に対する5-アミノレブリン酸の治療効果の検討	宮岡 亮	脳神経外科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
61	慢性疼痛に対する視床下部-脊髄系の疼痛受容および抑制システムの解明	川崎 展	整形外科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
62	バソプレッシンを可視化した遺伝子改変動物を用いた神経障害性疼痛機構の解明	鈴木 仁士	整形外科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
63	荷重増減下での骨-筋連関における分子メカニズムの解明とその制御法の開発	酒井 昭典	整形外科	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
64	慢性閉塞性肺疾患(COPD)に合併する骨粗鬆症の病態メカニズム解明	塚本 学	整形外科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
65	ALDH2遺伝子多型におけるHR-pQCTを用いた骨微細構造と骨形成促進剤の関連	田島 貴文	整形外科	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
66	インスリン受容体基質に着目した2型糖尿病に伴う組織線維化機序の解明と予防	山中 芳亮	整形外科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
67	分子標的治療薬の重症アトピー性皮膚炎に伴う円形脱毛症への効果解析と病態解明	中村 元信	皮膚科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
68	炎症性皮膚疾患と骨との免疫学的なクロストークの解析	佐々木 奈津子	皮膚科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
69	皮膚悪性腫瘍におけるCADM1(Cell adhesion molecule 1)/ TSLC1(tumor suppressor in lung cancer 1)の発現と治療へ応用の可能性	佐々木 奈津子	皮膚科	¥1,800,000	補 (公財) 武田科学振興財団
70	セレコキシブによる新規ケロイド・肥厚性瘢痕治療法の開発に向けた基盤研究	松永 洋明	形成外科	¥2,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
71	黄斑低形成の臨床的および分子生物学的検討	近藤 寛之	眼科	¥1,300,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
72	医療従事者を対象とした放射線白内障自動診断システム構築及び放射線防護教育の実践	永田 竜朗	眼科	¥1,800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
73	リパシジルを用いた未熟児網膜症に対する新規点眼薬の開発	近藤 寛之	眼科	¥3,000,000	委 日本医療研究開発機構
74	鼻粘膜上皮細胞の細胞内Ca振動による線毛運動の制御—単離ヒト鼻粘膜細胞による解析	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
75	喉頭癌・下咽頭癌患者におけるCRT後再発救済手術後合併症リスクの客観的評価法	大久保 淳一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
76	新規核酸医薬を用いたアネキシンA4阻害による卵巣癌プラチナ耐性克服へのアプローチ	吉野 潔	産婦人科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
77	婦人科がん患者の就労支援—保健師教育プログラムとスマートフォンアプリの開発—	松浦 祐介	産婦人科	¥1,500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
78	がん微小環境の制御による腫瘍細胞の分化転換	原田 大史	産婦人科	¥2,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
79	子宮頸部病変自動診断システムの開発～低医療資源国における子宮頸がん予防に向けて～	吉野 潔	産婦人科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
80	CT検診画像および総合健診データによる生活習慣と関連した骨折リスク評価研究	青木 隆敏	放射線科	¥1,500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
81	高精度な電磁界シミュレーション技術を用いた新たな温熱療法の開発	大栗 隆行	放射線科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
82	慢性疼痛に対する選択的Nav1.9阻害薬開発を目指したNav1.9の抑制機序解明	堀下 貴文	麻酔科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
83	脊髄後根神経節細胞における電位依存性ナトリウムチャネルの麻酔機序に果たす機能解析	堀下 貴文	麻酔科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
84	脳卒中片麻痺上肢痙縮に対するボツリヌス療法と中枢性電気刺激の併用療法に関する研究	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
85	経頭蓋直流電気刺激が脳卒中後の神経可塑性に関連する生化学的因子に与える効果	伊藤 英明	リハビリテーション科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
86	末梢性の上肢麻痺に対する経頭蓋直流電気刺激療法の効果についての研究	松嶋 康之	リハビリテーション科	¥1,600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
87	Martin-Gruber吻合における吻合枝の運動単位数と神経再生への寄与解明	蜂須賀 明子	リハビリテーション科	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
88	真のICU-AWの発症率と予後とは～電気生理学的,形態学的検討～	二宮 正樹	リハビリテーション科	¥1,800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
89	手指を対象とした末梢効果器型訓練支援ロボットの開発と臨床適応に関する研究	越智 光宏	リハビリテーション科	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
90	製造業における高年齢労働者の労働災害予防に関する研究	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥2,240,000	補 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
91	脳卒中及び循環器疾患における治療と仕事の両立支援の手法の開発	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥6,160,000	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等性格習慣病対策総合研究事業)
92	スモンに関する調査研究	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥700,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
93	高齢者における加齢性変化を超える身体的機能低下の特徴と非災害性腰痛との関連に関する研究	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥4,000,000	補 厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金(業務上の負傷と基礎疾患の関係に関する研究分野)
94	エキスパートパネルにおけるレビュー、調査、運用指針作成協力	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥500,000	委 日本医療研究開発機構
95	3次元心エコーを用いた左室・左房容量比の予後予測能に関する検討	竹内 正明	臨床検査・輸血部	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
96	異型脂肪腫様腫瘍から脱分化型脂肪肉腫への脱分化現象に関与する分子機序の解明	松山 篤二	病理診断科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
97	妊娠期の母の腸内細菌由来水素ガスが胎児及び成長後の疾病へ及ぼす影響に関する研究	中山 敏幸	病理診断科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
98	慢性腎不全におけるサルコペニアと炎症マーカー～炎症性サイトカインの網羅的検討～	宮本 哲	腎センター	¥200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
99	病的な樹状細胞由来破骨細胞のみを標的とした新規骨破壊抑制法の開発	成澤 学	救急科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
100	CT検査における介助者被ばくの実態調査と院内多職種連携被ばく管理チームの構築	二瓶 俊一	集中治療部	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
101	院内における放射線業務従事者を対象とした放射線被ばく原因究明ツールの開発と実践	蒲地 正幸	集中治療部	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
102	ラット神経障害性痛モデルにおけるカンナビノイド再取り込み阻害薬の中枢神経作用	原 幸治	手術部	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
103	細菌ストレス応答の動的過程解明:エレクトロニクスに創発された新細菌同定法への展開	齋藤 光正	感染制御部	¥1,500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
104	ADHDの傾向を有する労働者のコホート調査	永田 昌子	両立支援科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
105	労働者コホートによる職場の差別が障害や疾病と精神的健康との関係に与える影響の解明	江口 尚	両立支援科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
106	職場における心理社会的安全風土が労働者の健康に及ぼす影響に関するコホート研究	江口 尚	両立支援科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
107	災害時等の産業保健体制の構築のための研究	立石 清一郎	両立支援科	¥3,850,000	補 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)
108	中小企業等における治療と仕事の両立支援の取り組み促進のための研究	立石 清一郎	両立支援科	¥3,870,000	補 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)
109	医療機関における治療と仕事の両立支援の推進に資する研究	立石 清一郎	両立支援科	¥8,740,000	補 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)
110	職域がん検診における精度管理指標の測定・基準値設定と新指標測定法の開発・実用化に関する研究	永田 昌子	両立支援科	¥1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
111	健康診査・保健指導における健診項目等の必要性、妥当性の検証、及び地域における健診実施体制の検討のための研究	立石 清一郎	両立支援科	¥1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
112	テレワーク等新しい働き方に対応したストレスおよびメンタルヘルス対策への提言と好事例集の作成	江口 尚	両立支援科	¥610,000	補 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)
113	事業場において治療と仕事の両立を支援するための配慮とその決定プロセスに関する研究	江口 尚	両立支援科	¥7,000,000	補 厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金(治療と仕事の両立支援関連研究分野)
114	治療と職業生活の両立におけるストレスマネジメントに関する研究	立石 清一郎	両立支援科	¥500,000	補 厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金(治療と職業生活の両立支援研究分野)
115	医学的知見に基づく裁量労働を含む長時間労働者に対する適切な面接指導実施のためのマニュアルの作成に関する研究	江口 尚	両立支援科	¥600,000	補 厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金(メンタルヘルス研究分野)
116	小規模零細事業場の構成員に必要な支援を効率的に提供するツールと仕組みを通してメンタルヘルス対策を浸透させることを目指す実施研究	江口 尚	両立支援科	¥1,500,000	補 厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金(メンタルヘルス研究分野)
117	在留外国人にとっての医療問題は医療者との熟議でどこまで解決可能か?	森 朋有	総合診療科	¥1,149,550	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計7
計117件

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを称する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	TanakaY.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	State-of-the-art treatment of systemic lupus erythematosus	Int J Rheum Dis. 2020 Apr;23(4):465-471	Review
2	HaraK,HaranishiY, TeradaT.	手術部	Intrathecally administered perampanel alleviates neuropathic and inflammatory pain in rats	Eur J Pharmacol. 2020 Apr;872:172949	Original Article
3	NishimuraH,Kawa sakiM,Tsukamoto M,etal.	整形外科	Transient receptor potential vanilloid 1 and 4 double knockout leads to increased bone mass in mice	Bone Rep. 2020 Apr;12:100268 (オンライン)	Original Article
4	TokutsuA,OkadaY, TorimotoK,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Response of thyrotropin-secreting pituitary tumors to preoperative lanreotide therapy. Report of two cases	Neuro Endocrinol Lett. 2020 Apr;41(1):10-16	Original Article
5	KuboS,SiebuhrAS, Bay- JensenAC,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Correlation between serological biomarkers of extracellular matrix turnover and lung fibrosis and pulmonary artery hypertension in patients with systemic sclerosis	Int J Rheum Dis. 2020 Apr;23(4):532-539	Original Article
6	MiyagawaI,Nakan oK,NakayamadaS, etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	The additive effects of hydroxychloroquine to maintenance therapy with standard of care in patients with systemic lupus erythematosus	Int J Rheum Dis. 2020 Apr;23(4):549-558	Original Article
7	HayashiA,Mantha Y,HaradaR.	循環器内科、腎臓内科	Acute Mitral Regurgitation and Transcatheter Mitral Valve Repair in an Emergency Case: Focus on the Mechanical Disorder of Mitral Valve Complex	Heart Fail Clin. 2020 Apr;16(2):211-219 (オンライン)	Review
8	HorishitaT,OgataY ,HorishitaR,etal.	麻酔科	Carvacrol inhibits the neuronal voltage- gated sodium channels Na(v)1.2, Na(v)1.6, Na(v)1.3, Na(v)1.7, and Na(v)1.8 expressed in Xenopus oocytes with different potencies	J Pharmacol Sci. 2020 Apr;142(4):140-147	Original Article
9	KanayamaM,Mori M,MatsumiyaH,et al.	呼吸器・胸部外科	Perioperative pirfenidone treatment for lung cancer patients with idiopathic pulmonary fibrosis	Surg Today. 2020 May;50(5):469-474	Original Article
10	TanakaY,MimoriT, YamanakaH,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Effectiveness, safety, and methotrexate dose-tapering pattern over two years of treatment with adalimumab and ≥ 12 mg/week methotrexate for early rheumatoid arthritis: Results of the HAWK postmarketing surveillance study in Japan	Mod Rheumatol. 2020 May;30(3):424-433	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
11	ShigemiS,UchimuraK,TanakaF,etal.	呼吸器内科	Mucoepidermoid Carcinoma Showing "Finger-in-glove" Sign on PET-CT	Intern Med. 2020 May 15;59(10):1335-1336	Case Report
12	TorimotoK,OkadaY,TanakaY,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Usefulness of the index calculated as the product of levels of fasting plasma glucose and hemoglobin A1c for insulinoma screening	Endocr J. 2020 May 28;67(5):509-513	Original Article
13	TomisakiI,MatsuyamaA,JotatsuM,etal.	泌尿器科	Primary retroperitoneal mucinous cystadenocarcinoma with transition from the mesothelium	IJU Case Rep. 2020 May;3(4):137-140 (オンライン)	Case Report
14	TanakaY,IzutsuH.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Peficitinib for the treatment of rheumatoid arthritis: an overview from clinical trials	Expert Opin Pharmacother. 2020 Jun;21(9):1015-1025	Others
15	NabeshimaY,SeoY,TakeuchiM.	循環器内科、腎臓内科	A review of current trends in three-dimensional analysis of left ventricular myocardial strain	Cardiovasc Ultrasound. 2020 Jun;18(1):23 (オンライン)	Review
16	MoriM,IchikiY,KanayamaM,etal.	呼吸器・胸部外科	The impact of perioperative heparin bridging therapy in lung cancer surgery	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Jun;68(6):623-628	Original Article
17	KawabeA,NakanoK,KuboS,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Differential long-term retention of biological disease-modifying antirheumatic drugs in patients with rheumatoid arthritis by age group from the FIRST registry	Arthritis Res Ther. 2020 Jun;22(1):136 (オンライン)	Original Article
18	KumaA,WangXH,KleinJD,etal.	腎センター	Inhibition of urea transporter ameliorates uremic cardiomyopathy in chronic kidney disease	FASEB J. 2020 Jun;34(6):8296-8309	Original Article
19	KondoH,FujimotoK,ImagawaM,etal.	眼科	Electroretinograms of eyes with Stickler syndrome	Doc Ophthalmol. 2020 Jun;140(3):233-243	Original Article
20	MiyazakiY,NakayamaS,KuboS,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Favorable efficacy of rituximab in ANCA-associated vasculitis patients with excessive B cell differentiation	Arthritis Res Ther. 2020 Jun;22(1):141 (オンライン)	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
21	WatanabeK,Kak edaS,Katsukia,e tal.	放射線科	Whole-brain structural covariance network abnormality in first-episode and drug-naï ve major depressive disorder	Psychiatry Res Neuroimaging. 2020 Jun;300:111083	Original Article
22	TajimaT,MoriT,Hir anoF,etal.	整形外科	Alpha-Defensin-1 in Synovial Fluid is Useful for Diagnosis of Joint Infection	J UOEH. 2020 Jun;42(2):167-173	Original Article
23	Otsujik,FukudaK, MaruokaT,etal.	集中治療部	Acquisition of genetic mutations in Group A Streptococci at infection site and subsequent systemic dissemination of the mutants with lethal mutations in a streptococcal toxic shock syndrome mouse model	Microb Pathog. 2020 Jun;143:104116	Original Article
24	ChibaY,HiraseN,Y amasakiK,etal.	呼吸器内科	Mediastinal T-cell Lymphoblastic Lymphoma Diagnosed with a Skin Biopsy	Intern Med. 2020 Jun 1;59(11):1463-1464	Others
25	SuzukiK,SaitoT,Sa kaiK,etal.	脳神経外科	Recurrent Shoulder Tip Pain After Ventriculoperitoneal Shunt Placement Associated with Infectious Peritonitis with Propionibacterium acnes; A Case Report and Review of the Literature	J UOEH. 2020 Jun;42(2):209-216	Case Report
26	IkegamiH,Yamasa kiK,KawanamiT,et al.	呼吸器内科	Pulmonary Mycobacterium parascrofulaceum Infection in a Patient with Chronic Progressive Pulmonary Aspergillosis: A Case Report and Literature Review	Intern Med. 2020 Jun 1;59(11):1417-1422	Case Report
27	NishimuraY,Yasut suneT,ShimajiriS, etal.	心臓血管外科	Significant delayed aortic dilatation after tetralogy of Fallot repair: a case report	Surg Case Rep. 2020 Jul;6(1):173 (オンライン)	Case Report
28	OhbuchiT,SaitoT, YokoyamaT,etal.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Osmotic perception of GABAergic synaptic transmission in the supraoptic nucleus of rats	IBRO Rep. 2020 Jul; 9:58-64	Original Article
29	FujitaniT,Matsuur aT,KawasakiM,eta l.	整形外科	Presynaptic glutamatergic transmission and feedback system of oxytocinergic neurons in the hypothalamus of a rat model of adjuvant arthritis	Mol Pain. 2020 Jul;16:1744806920943 334. (オンライン)	Original Article
30	TsukamotoM,Nak amuraE,Narusawa K,etal.	整形外科	A Diagnostic Approach to Myelopathy Based on Prognostic Factors in Patients With Lower Extremity Symptoms	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Jul 1;45(13):E792-E798	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
31	KosugiK,TajimaT, MenukiK,etal.	整形外科	Disruption of the aldehyde dehydrogenase 2 gene increases the bone anabolic response to intermittent PTH treatment in an ovariectomized mouse model	Bone. 2020 Jul;136:115370	Original Article
32	AkiyamaY,YoshimuraM,UenoH,etal.	消化器・内分泌外科	Peripherally administered cisplatin activates a parvocellular neuronal subtype expressing arginine vasopressin and enhanced green fluorescent protein in the paraventricular nucleus of a transgenic rat	J Physiol Sci. 2020 Jul 10;70(1):35	Original Article
33	FunadaM,NakanoK,Miyagawal,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Systemic lupus erythematosus with repeated protein-losing enteropathy resulting from different pathological conditions: a case report	Mod Rheumatol Case Rep. 2020 Jul;4(2):229-232	Case Report
34	KitamuraT,MiyazakiS,SulaimanHB,etal.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Insomnia and obstructive sleep apnea as potential triggers of dementia: is personalized prediction and prevention of the pathological cascade applicable?	EPMA J. 2020 Jul;11(3):355-365	Review
35	TanakaY,SoenS,IshiguroN,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Identifying the preferable rheumatoid arthritis subgroups for intervention with the anti-RANKL antibody denosumab to reduce progression of joint destruction	RMD Open. 2020 Jul;6(2):e001249 (オンライン)	Original Article
36	MurakamiM,IzumiH,KuritaT,etal.	産婦人科	UBE2L6 is Involved in Cisplatin Resistance by Regulating the Transcription of ABCB6	Anticancer Agents Med Chem. 2020 Aug;20(12):1487-1496	Original Article
37	TanakaF,YonedaK,TakenakaM.	消化器・内分泌外科	Postoperative management for non-small cell lung cancer harboring EGFR mutations	J Thorac Dis. 2020 Aug;12(8):4556-4560	Others
38	NishimuraH,KawasakiM,SuzukiH,etal.	整形外科	The neurohypophysial oxytocin and arginine vasopressin system is activated in a knee osteoarthritis rat model	J Neuroendocrinol. 2020 Aug;32(8):e12892 (オンライン)	Original Article
39	TokutsuA,OkadaY,TorimotoK,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Relationship between interstitial glucose variability in ambulatory glucose profile and standardized continuous glucose monitoring metrics; a pilot study	Diabetol Metab Syndr. 2020 Aug 12;12:70 (オンライン)	Original Article
40	ChibaY,YamasakiK,IkegamiH,etal.	呼吸器内科	Pseudoaneurysm after total arch replacement mimicking malignant lymphadenopathy	Respirol Case Rep. 2020 Aug 19;8(7):e00645 (オンライン)	Case Report

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
41	NagasakaA, ShimizuT, MinamiT, et al.	麻酔科	Anticipated difficult airway management using a model of the upper airway	Can J Anaesth. 2020 Aug;67(8):1078-1080	Others
42	MoriM, YoshimatsuK, ShinoharaS, et al.	呼吸器・胸部外科	Chest wall stabilization with intercostal Z-suture and mesh for rib fractures	Trauma Case Rep. 2020 Aug;28:100311 (オンライン)	Case Report
43	TanakaY.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Rheumatoid arthritis	Inflamm Regen. 2020 Sep;40:20 (オンライン)	Review
44	TanakaY.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	A review of upadacitinib in rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol. 2020 Sep;30(5):779-787	Review
45	MiyagawaY, TanakaY.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	The approach to precision medicine for the treatment of psoriatic arthritis	Immunol Med. 2020 Sep;43(3):98-102	Review
46	UchimuraK, YamasakiK, SasadaS, et al.	呼吸器内科	Quantitative analysis of endobronchial ultrasound elastography in computed tomography-negative mediastinal and hilar lymph nodes	Thorac Cancer. 2020 Sep;11(9):2590-2599	Original Article
47	SuzukiH, OhbuchiT, DoBH, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Frequency-specific efficacy of intratympanic steroid on idiopathic sudden sensorineural hearing loss	Acta Otolaryngol. 2020 Sep;140(9):756-760	Original Article
48	YamaguchiA, HirataS, KuboS, et al.	臨床検査・輸血部	5-year remission rate after the discontinuation of adalimumab in patients with rheumatoid arthritis: Long-term follow-up results of the HONOR study	Mod Rheumatol. 2020 Sep;30(5):799-806	Original Article
49	ItamuraH, OhguriT, YaharaK, et al.	放射線科	Pembrolizumab-induced Radiation Recall Pneumonitis After the Resolution of Typical Asymptomatic Radiation Pneumonitis	J UOEH. 2020 Sep;42(3):261-266	Case Report
50	NemotoK, KawanamiT, HoshinaT, et al.	呼吸器内科	Impaired B-Cell Differentiation in a Patient With STAT1 Gain-of-Function Mutation	Front Immunol. 2020 Sep;11:557521 (オンライン)	Case Report

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
51	HayashiT,Shibata M,OeS,etal.	消化管内科、肝胆膵内科	Antiplatelet Therapy Improves the Prognosis of Patients with Hepatocellular Carcinoma	Cancers. 2020 Oct;12(11):3215 (オンライン)	Original Article
52	UchimuraK,Yamas akiK,SasadaS,etal	呼吸器内科	Evaluation of histological specimens obtained by two types of EBUS-TBNA needles: a comparative study	Jpn J Clin Oncol. 2020 Oct 22;50(11):1298- 1305	Original Article
53	OkamotoN,Watan abeK,NguyenL,et al.	神経・精神科	Association of Serum Kynurenine Levels and Neural Networks in Patients with First-Episode, Drug-Naïve Major Depression: A Source-Based Morphometry Study	Neuropsychiatr Dis Treat. 2020 Oct; 16:2569-2577	Original Article
54	AkataK,Yamasaki K,LeitaoFilhoFS,et al.	呼吸器内科	Abundance of Non-Polarized Lung Macrophages with Poor Phagocytic Function in Chronic Obstructive Pulmonary Disease (COPD)	Biomedicines. 2020 Oct 8;8(10):398 (オンライン)	Original Article
55	KagamiS,Amimoto S,KinjoY,etal.	産婦人科	Ectopic pregnancy in a paraaortic lymph node	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2020 Oct;253:338-339	Letter
56	OhkuboN,Nakano K,Miyagawal,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Mild Encephalitis/Encephalopathy with Reversible Splenic Lesions in SLE	Intern Med. 2020 Oct 1;59(19):2439-2440	Case Report
57	ZenkeY,OshigeT, MenukiK,etal.	救急科	Four-corner fusion method using a bioabsorbable plate for scapholunate advanced collapse and scaphoid nonunion advanced collapse wrists: a case series study	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Oct 15;21(1):683 (オンライン)	Original Article
58	OheH,Oginosawa Y,YamagishiY,etal	循環器内科、腎臓内科	Rate-dependent pacing failure after pacemaker implantation: Novel insights into the mechanism of using adenosine	J Cardiovasc Electrophysiol. 2020 Oct;31(10):2765-2769	Case Report
59	TanakaY,Hoshino- NegishiK,KuboiY,e tal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Emerging Role of Fractalkine in the Treatment of Rheumatic Diseases	Immunotargets Ther. 2020 Nov;9:241-253 (オンライン)	Review
60	Matsushital,Morit aH,KondoH.	眼科	Autosomal dominant foveal hypoplasia without visible macular abnormalities and PAX6 mutations	Jpn J Ophthalmol. 2020 Nov;64(6):635-641	Review

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
61	JotatsuT,IzumiH, MorimotoY,etal.	呼吸器内科	Selection of microRNAs in extracellular vesicles for diagnosis of malignant pleural mesothelioma by in vitro analysis	Oncol Rep. 2020 Nov;44(5):2198-2210	Original Article
62	MiuraT,SonodaS, anukiY,etal.	循環器内科、腎臓内科	Comparison of post-stent irregular protrusion and subsequent neointimal characteristics between second- and third-generation drug-eluting stent implantation	J Cardiol. 2020 Nov;76(5):464-471	Original Article
63	ShibaoK,FujinoY, odenF,etal.	消化器・内分泌外科	Clinical Outcomes of Laparoscopic Versus Laparotomic Distal Gastrectomy in Gastric Cancer Patients: A Multilevel Analysis Based on a Nationwide Administrative Database in Japan	World J Surg. 2020 Nov;44(11):3852-3861	Original Article
64	ChibaY,Kawanami T,YamasakiK,etal.	呼吸器内科	Hyper-progressive disease after immune checkpoint inhibitor in SMARCA4-deficient small-cell lung carcinoma	Respirol Case Rep. 2020Nov;8(8):e00667 (オンライン)	Case Report
65	YoshimuraR,Okam otoN,KonishiY,eta l.	神経・精神科	Panic Disorder Induced by the Coronavirus Disease Pandemic in a Patient with Organic Mood Disorder Successfully Treated with Vortioxetine	Case Rep Psychiatry. 2020 Nov;2020:8870014 (オンライン)	Case Report
66	IwataS,ZhangM,H aoH,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Enhanced Fatty Acid Synthesis Leads to Subset Imbalance and IFN- γ Overproduction in T Helper 1 Cells	Front Immunol. 2020 Nov;11:593103 (オンライン)	Original Article
67	SawadaY,Mashim aE,Saito- SasakiN,etal.	皮膚科	The Role of Cell Adhesion Molecule 1 (CADM1) in Cutaneous Malignancies	Int J Mol Sci. 2020 Dec;21(24):9732 (オンライン)	Review
68	KosugiK,ZenkeY,T ajimaT,etal.	整形外科	Long-term outcomes of metacarpal fractures surgically treated using bioabsorbable plates: a retrospective study	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Dec 7;21(1):817 (オンライン)	Original Article
69	IshiiM,SenjuA,Ogu roA,etal.	小児科	Measurement of the Estradiol Concentration in Cerebrospinal Fluid from Infants and Its Correlation with Serum Estradiol and Exosomal MicroRNA-126-5p	Biol Pharm Bull. 2020 Dec;43(12):1966-1968	Others
70	TsukamotoM,Mori T,NakamuraE,etal.	整形外科	Chronic obstructive pulmonary disease severity in middle-aged and older men with osteoporosis associates with decreased bone formation	Osteoporos Sarcopenia. 2020 Dec;6(4):179-184	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
71	SonodaS,OkadaY, TorimotoK,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Correlations Between Glycemic Parameters Obtained from Continuous Glucose Monitoring and Hemoglobin A1c and Glycoalbumin Levels in Type 2 Diabetes Mellitus	J UOEH. 2020 Dec;42(4):299-306	Original Article
72	HashimotoW,Take nakal,YasunamiK, etal.	麻酔科	Comparison of effectiveness of the piston- pump method versus the pressure-infusor method for rapid infusion of crystalloids: A bench study	Indian J Anaesth. 2020 Dec;64(12):1059-1063	Original Article
73	TanakaY,KondoK,I chiboriA,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Amiselimod, a sphingosine 1-phosphate receptor-1 modulator, for systemic lupus erythematosus: A multicenter, open-label exploratory study	Lupus. 2020 Dec;29(14):1902-1913	Original Article
74	UedaM,KonishiY, SakuraiK,etal.	神経・精神科	Efficacy of Electroconvulsive Therapy for Neuropathic Pain Comorbid with Major Depression	Case Rep Psychiatry. 2020 Dec;2020:8818553 (オンライン)	Case Report
75	HayashiT,Shibata M,OeS,etal.	消化管内科、肝胆臓内科	C-reactive protein can predict dose intensity, time to treatment failure and overall survival in HCC treated with lenvatinib	PLoS One. 2020 Dec;15(12):e0244370 (オンライン)	Original Article
76	OkawaraS,Bando K,TsukadaJ.	血液内科	Light chain-positive rod-like inclusions in bone marrow plasma cells associated with monoclonal gammopathy of renal significance	Clin Case Rep. 2020 Dec;8(12):3621-3622 (オンライン)	Case Report
77	TanakaY,Tummal aR.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Anifrolumab, a monoclonal antibody to the type I interferon receptor subunit 1, for the treatment of systemic lupus erythematosus: an overview from clinical trials	Mod Rheumatol. 2021 Jan;31(1):1-12	Review
78	FunadaM,Nawata M,NawataA,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Rapidly progressive glomerulonephritis after introduction of certolizumab pegol: a case report	Mod Rheumatol Case Rep. 2021 Jan;5(1):11- 15	Case Report
79	UchimuraK,Yamas akiK,KawanamiT, etal.	呼吸器内科	Influential Factors for Assessing Endobronchial Ultrasound Elastography	Respiration. 2021 Jan;99(12):1154-1155	Letter
80	HachisukaA,Hube nigL,ChanKM.	リハビリテーション科	Patient compliance with orthotic use- can we do better? An editorial for Zuccarino et al. "Satisfaction with Ankle Foot Orthoses in Individuals with Charcot-Marie-Tooth"	Muscle Nerve. 2021 Jan;63(1):3-4	Others

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
81	NakanoK,SaitoK,NawataA,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Clinical aspects in patients with rheumatoid arthritis complicated with lymphoproliferative disorders without regression after methotrexate withdrawal and treatment for arthritis after regression of lymphoproliferative disorders	Mod Rheumatol. 2021 Jan;31(1):94-100	Review
82	HaradaM.	消化管内科、肝胆膵内科	Diagnosis for Wilson disease: this disease may not be a rare disease	J Gastroenterol. 2021 Jan;56(1):114-115	Others
83	HaradaY,NagataT,NagataM,etal.	病理診断科	Association between overtime work hours and preventive dental visits among Japanese workers	BMC Public Health. 2021 Jan;21(1):87 (オンライン)	Original Article
84	NarisawaM,KuboS,OkadaY,etal.	救急科	Human dendritic cell-derived osteoclasts with high bone resorption capacity and T cell stimulation ability	Bone. 2021 Jan;142:115616	Original Article
85	TanakaY,KamedaH,SaitoK,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Response to tocilizumab and work productivity in patients with rheumatoid arthritis: 2-year follow-up of FIRST ACT-SC study	Mod Rheumatol. 2021 Jan;31(1):42-52	Original Article
86	SuzukiH,MuramatsuK,KuboT,etal.	整形外科	Factors associated with mortality among patients with necrotizing soft tissue infections: An analysis of 4597 cases using the Diagnosis Procedure Combination Database	Int J Infect Dis. 2021 Jan;102:73-78	Original Article
87	SawadaY,Saito-SasakiN,NakamuraM.	皮膚科	Omega 3 Fatty Acid and Skin Diseases	Front Immunol. 2021 Feb;11:623052 (オンライン)	Review
88	OhguriT,KurodaK,YaharaK,etal.	放射線治療科	Optimization of the Clinical Setting Using Numerical Simulations of the Electromagnetic Field in an Obese Patient Model for Deep Regional Hyperthermia of an 8 MHz Radiofrequency Capacitively Coupled Device in the Pelvis	Cancers. 2021 Feb 26;13(5):979 (オンライン)	Original Article
89	SaitoR,SawadaY,NakamuraM.	皮膚科	Immune Profile Analysis in Peripheral Blood and Tumor in Patients with Malignant Melanoma	Int J Mol Sci. 2021 Feb;22(4):1957 (オンライン)	Original Article
90	SakakibaraH,YamasakiK,OnoS,etal.	呼吸器内科	A Case of Smoke Bomb-induced Acute Lung Injury	Intern Med. 2021 Mar 15;60(6):965-966	Case Report

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
91	KurodaK,MoriM,S hinoharaS,etal.	呼吸器・胸部外科	The surgical technique for complete resection of lung cancer invading the intrapericardial pulmonary vein and left atrium	Surg Today. 2021 Mar;51(3):452-456	Case Report
92	TanakaY.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Managing Osteoporosis and Joint Damage in Patients with Rheumatoid Arthritis: An Overview	J Clin Med. 2021 Mar;10(6):1241 (オンライン)	Review
93	OkamotoN,Yoshin oK,KitagawaS,etal.	神経・精神科	Association Between Serum Insulin-Like Growth Factor 1 Levels and the Clinical Symptoms of Chronic Schizophrenia: Preliminary Findings	Front Psychiatry. 2021 Mar;12:653802 (オンライン)	Original Article
94	HaraK,YamasakiK ,TaharaM,etal.	呼吸器内科	Immune checkpoint inhibitors-induced eosinophilic pneumonia: A case report	Thorac Cancer. 2021 Mar;12(5):720-724	Case Report
95	AoyamaY,UedaT, KuradomeY,etal.	産婦人科	Hypersensitivity Reaction to Carboplatin in Gynecologic Cancer: A Case Report and a Review of the Literature	J UOEH. 2021 Mar;43(1):81-86	Case Report
96	YoshimuraR,Okam otoN,KonishiY,eta l.	神経・精神科	Major depression with musical obsession treated with vortioxetine: a case report	Ann Gen Psychiatry. 2021 Mar;20(1):19 (オンライン)	Case Report
97	UemuraF,OkadaY, TorimotoK,etal.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Enlarged glycemic variability in sulfonylurea-treated well-controlled type 2 diabetics identified using continuous glucose monitoring	Sci Rep. 2021 Mar ;11(1):4875 (オンライン)	Original Article
98	MiyachiH,SuzukiK ,NagasakaS,etal.	脳神経外科	Brain ischemia due to direct vascular compression associate with rapid enlargement of unruptured middle cerebral artery aneurysm: A case report	Surg Neurol Int. 2021 Mar;12:115	Case Report
99	IkenouchiA,Sekii,T akaokaK,etal.	認知症センター	A male case of frontotemporal lobar degeneration with behavioural and psychiatric symptoms responding to a low dose of escitalopram	Psychogeriatrics. 2021 Mar;21(2):255-257	Case Report
100	HonmaY,Sato- MoritaM,KatsukiY ,etal.	消化管内科、肝胆膵内科	Trehalose alleviates oxidative stress-mediated liver injury and Mallor-Denk body formation via activating autophagy in mice	Med Mol Morphol. 2021 Mar;54(1):41-51	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
101	KumamotoK,TasakiT,OhnishiK,etal.	消化管内科、肝胆膵内科	CD169 Expression on Lymph Node Macrophages Predicts in Patients With Gastric Cancer	Front Oncol. 2021 Mar;11:636751 (オンライン)	Original Article
102	HonmaY,KarasuyamaT,KumamotoK,etal.	消化管内科、肝胆膵内科	Type 4B hereditary hemochromatosis due to heterozygous p.D157A mutation in SLC40A1 complicated with hypopituitarism	Med Mol Morphol. 2021 Mar;54(1):60-67	Case Report
103	TsudaY,MatsuyamaA,MakiharaK,etal.	病理診断科	Nuclear expression of MDM2 in hibernoma: a potential diagnostic pitfall	Virchows Arch. 2021 Mar;478(3):527-534	Original Article
104	TaharaM,FujinoY,YamasakiK,etal.	呼吸器内科	Exposure to PM(2.5) is a risk factor for acute exacerbation of surgically diagnosed idiopathic pulmonary fibrosis: a case-control study	Respir Res. 2021 Mar;22(1):80	Original Article

総計104件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会及び専門の審査等に関する手順書 Ⅰ 基本事項 Ⅱ 人を対象とする医学系研究に係る研究者等が遵守すべき事項 1 研究者等が遵守すべき事項 2 学長の責務 3 倫理委員会の運営 4 研究等において予期しない重篤有害事象及び不具合が発生した場合の対応について Ⅲ 倫理委員会における審査研究計画書等の提出及び手順 Ⅳ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に係る研究者等が遵守すべき事項 1 研究者等が遵守すべき事項 2 学長の責務 3 倫理委員会専門委員会の運営 Ⅴ 倫理委員会専門における倫理審査研究計画書等の提出及び審査手順	
③ 倫理審査委員会の開催状況	大学倫理委員会 年12回 臨床研究審査委員会年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切に管理することを目的とした規定を整備している。 規定では「管理すべき利益相反」状況を判断する基準を指針として示すとともに、産学連携活動を適切に推進するため利益相反委員会を設置し、教職員等に対して利益相反に該当する事例が発生又は発生が予測され、学校法人活動に悪影響を与えられらるるときは当該事例を委員会に報告することを義務付けている。	

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回
---------------------------------------	------

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
<p>・研修の主な内容</p> <p>1. 人を対象とする医学系研究倫理に関する講習会（令和2年9月28日、30日開催）</p> <p>講習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学系指針とゲノム指針の統合について <p>2. 人を対象とする医学系研究倫理に関する講習会（令和3年3月23日、31日開催）</p> <p>講習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究の基本倫理 ・新たに試料・情報を取得する場合のICの要点 	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

- 産業医科大学病院の診療科等に所属して行う臨床修練（専門研修プログラム）及び産業医実務研修
- a 各診療科に特化した専門的な臨床修練
 - b 診療を通じての臨床教育の補助的業務及び診療に関する研究
 - c 産業医科大学若松病院、労災病院等における臨床修練又は事業場、労働衛生機関等における産業医修練、或いはその両方の修練
 - d 産業医学基本講座の受講
 - e 産業医学実務講座の受講

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 141.67 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	診療科長	36年	
尾辻 豊	循環器内科、腎臓内科	診療科長	39年	令和2年4月～令和2年11月
片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	診療科長	18年	令和2年12月～令和3年3月
原田 大	消化管内科、肝胆膵内科	診療科長	33年	
塚田 順一	血液内科	診療科長	36年	
矢寺 和博	呼吸器内科	診療科長	26年	
足立 弘明	神経内科、心療内科	診療科長	29年	
吉村 玲児	神経・精神科	診療科長	32年	
楠原 浩一	小児科	診療科長	37年	
平田 敬治	消化器・内分泌外科	診療科長	33年	
田中 文啓	呼吸器・胸部外科	診療科長	34年	
西村 陽介	心臓血管外科	診療科長	34年	
山本 淳孝	脳神経外科	診療科長	24年	
酒井 昭典	整形外科	診療科長	34年	
江角 元史郎	小児外科	診療科長	17年	
中村 元信	皮膚科	診療科長	29年	
安田 浩	形成外科	診療科長	36年	
藤本 直浩	泌尿器科	診療科長	36年	
近藤 寛之	眼科	診療科長	32年	
鈴木 秀明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	37年	
吉野 潔	産婦人科	診療科長	29年	
興梶 征典	放射線科	診療科長	39年	
堀下 貴文	麻酔科	診療科長	24年	
佐伯 覚	リハビリテーション科	診療科長	32年	

眞弓 俊彦	救急科	診療科長	35年
久岡 正典	病理診断科	診療科長	32年
蒲地 正幸	集中治療部	部長	35年
竹内 正明	臨床検査・輸血部	部長	35年
楠原 浩一	総合周産期母子医療センター	センター長	37年
宮脇 昭彦	歯科・口腔外科	診療科長	34年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
1 第7回福岡県安全運転医療連絡協議会 R2.10.10（参加者数：67人）
2 合同がんセンターボード「当院において多職種による治療と仕事の両立支援を行った1例」 R3.3.15（参加者数：43人）
3 がん看護講座Ⅰ 年6回（延参加者数：467人）
4 認知症センター専門職研修会 R3.1.26（参加者数：74人）
5 腎センター災害時研修 R2.9.9（参加者数：10人）
6 医薬品安全セミナー 年4回（延参加者数：166人）
7 ME安全セミナー 年116回（延参加者数：759人）
8 抗菌薬適正使用セミナー 年6回（延参加者数：39）
9 リスクマネジメント研修 R2.5.25（参加者数：70人）
10 転倒・転落防止対策研修会 R2.12.7（参加者数：51人）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
1 個人情報保護研修会 R2.12.10～24 （参加者数：1946人 ※DVD及びe-ラーニングによる受講を含む）
2 医療安全（医療事故防止・病院感染防止）職員全体研修会 （参加者数：R2.6.8～24：1760人、R2.9.7～18：1757人、R3.1.12～25：1768人 ※DVD及びe-ラーニングによる受講を含む）
3 診療用放射線の安全利用のための職員研修会 R2.11.9～20（参加者数：600人 ※DVD及びe-ラーニングによる受講を含む）
4 委託業者医療安全研修 R2.11（参加者数：141人 ※DVDによる受講）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 田中 文啓	
管理担当者氏名	医療情報部長 感染制御部長 医薬品安全管理責任者 看護部長 放射線部長 医療安全室長 医療支援課長	林田 賢史 鈴木 克典 一木 孝治 大松 真弓 青木 隆敏 杉田 朋子 河津 郁穂 医療の質・安全管理部長 医療放射線安全管理責任者 医療機器安全管理者 薬剤部長 病院管理課長 医事課長 古賀 和徳 青木 隆敏 高橋 一久 植木 哲也 伊藤 浩二 植山 優子

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院管理課
		各科診療日誌	各病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療支援課
		看護記録	看護部
		検査所見記録	臨床検査・輸血部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療支援課
		従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課
		高度の医療の提供の実績	病院管理課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課
		高度の医療の研修の実績	病院管理課
		閲覧実績	病院管理課
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課および薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部及び医療安全室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部及び医療安全室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部及び医療安全室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部及び医療安全室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	情報収集や改善策の実施に関する記録：医療の質・安全管理部及び薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療の質・安全管理部、臨床工学部及び医療安全室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療の質・安全管理部及び臨床工学部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理部及び臨床工学部		

年度ごとに電子媒体において管理及びファイルにおいても管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	医療安全管理責任者の配置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	年度ごとに電子媒体において管理及びファイルにおいても管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部及び医療安全室	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	医療安全管理部門の設置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	監査委員会の設置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室	
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院事務部長 田中 和寿		
閲覧担当者氏名	病院管理課長 伊藤 浩二 病院管理課長代理 江島 朋子、吉丸 尊教		
閲覧の求めに応じる場所	診療情報閲覧室		
閲覧の手続の概要 病院事務部入口に診療情報等閲覧受付と表示しており、閲覧希望者が来院された際には、病院管理課にて受付を行い、病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧簿に氏名等を記載して頂き診療情報等閲覧室にて閲覧することとなっている。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全に関する基本的考え方 2) 医療安全のための委員会その他組織に関する基本事項 3) 医療安全のための職員研修に関する基本方針 4) 医療事故及び病院感染の発生状況の報告等に関する基本方針 5) 医療事故又は病院感染発生時の対応に関する基本方針 6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7) 患者からの相談への対応に関する基本方針 8) 診療用放射線の安全利用のための指針 9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有）・無</p> <p>・ 開催状況：年14回（持ち回りを含む）</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療事故の原因の分析並びに医療事故防止の具体策の調査及び検討に関すること。 2) 医療事故に関する諸記録の点検に関すること。 3) 医療事故発生時の対応状況の調査及び指導に関すること。 4) 医療事故防止対策の実施状況の調査及び指導に関すること。 5) 医療事故防止のための啓発、教育及び広報に関すること。 6) その他医療事故の防止に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院内での自殺予防 ～自殺予防はみんなの仕事～ 2) 食中毒について 3) 新型コロナウイルスとは 4) 新型コロナウイルスに対する感染対策について 5) 診療用放射線の安全利用のための研修 6) 病院放射線業務従事者の実務概要 7) マニュアル改定と消毒薬について 8) 医薬品の安全な使用について 9) 医療機器及び医療ガスの安全管理について 10) 医療安全の中での褥瘡管理 11) 呼吸器感染症（新型コロナウイルス感染症など）について 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）・無</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療事故発生時の原因究明、再発防止策の立案・実施・周知・確認 2) 医療安全対策マニュアルの作成、周知、評価、見直し 3) 医療安全に関する職員全体研修会の開催 4) 医療安全管理委員会の定期的開催（毎月）・臨時開催 5) 各部署のセーフティマネージャーとの連携 6) 医療安全に関するその他の委員会との連携 7) インフォームド・コンセントに関する管理、指導 8) 医療安全に関する診療録の記載確認、指導 9) 全死亡症例及び管理者が定める水準以上の事象発生時の確認 10) 医療安全に関する情報の収集、提供 11) 医療安全対策推進のための調査、研究 12) 院内の安全に関する相談、助言、医療安全内部通報への対応等 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染対策に関する基本的考え方 2) 院内感染対策のための委員会その他組織に関する基本的事項 3) 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4) 感染症の発生状況の報告等に関する基本方針 5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7) 患者からの相談への対応に関する基本方針 8) その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院感染の原因の分析並びに感染防止の具体策の調査及び検討に関すること。 2) 病院感染に関する諸記録の点検に関すること。 3) 病院感染発生時の対応状況の調査及び指導に関すること。 4) 病院感染防止対策の実施状況の調査及び指導に関すること。 5) 病院感染防止のための啓発、教育及び広報に関すること。 6) その他病院感染の防止に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染防止の基本的考え方 2) 総論・マニュアルについて、隔離予防策の必要性、針刺し事故の手技 3) 手指衛生と標準予防策 4) 産業医科大学病院における院内感染対策の取組み 5) 職業感染対策 6) インフルエンザ・ノロウイルス対策 7) 標準予防策：手洗い・個人防護具の装着・オムツ交換の実際 8) 外部委託のスタッフを対象とした感染防止研修会 9) 流行性感染症と感染経路別予防策 10) 院内感染予防研修会、清掃作業従事者研修 11) 感染防止対策の基本・感染経路別の対応 12) 病院感染における抗菌薬適正使用について、病院感染防止について 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>JANIS検査部門、ICU部門、手術部位感染サーベイランスへ参加している。結果は、病院感染防止委員会や関連部署へフィードバックし、周知をしている。手指衛生サーベイランスに関しては結果をセーフティーマネージャー連絡会議、感染防止リンクナース会、感染制御部Information等で全職員に対して周知している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染制御部ニュース及びInformationの発行にて広報 2) セーフティーマネージャー連絡会議を通じて広報 3) 病院感染防止委員会を通じて広報 4) 手洗い遵守に向けた取組み 5) 病院職員の抗体価検査と予防接種の実施（麻疹、水痘、風疹、ムンプス） 6) 感染性廃棄物分別の徹底 7) 抗菌薬適正使用セミナーの開催 8) 地域連携の充実（カンファレンスなど） 9) 体調不良者リストによる職員の感染者の早期発見 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療用麻薬等の適正使用・適正管理 2) 輸液の適正使用について 3) 経口糖尿病薬の適正使用について 4) 抗凝固薬の適正使用について 5) 医薬品副作用被害救済制度について 6) 注射薬の希釈に関する院内統一ルールについて 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>医薬品業務手順書には、次に掲げる業務に関する事項を記載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品の採用 2) 医薬品の購入 3) 医薬品の保管・管理 4) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤 5) 患者に対する与薬や服薬指導 6) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い（収集、管理、周知） 7) 他施設（病院等、薬局等）との連携 8) 手順書の遵守状況の確認 <p>従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているかについて、月1回各部署から提出される「医薬品の安全使用のための業務手順チェックリスト」にて、医薬品の適正管理や与薬時における患者確認、6R+Aの遵守等の業務の実施状況を確認している。医療安全管理委員会の定期巡視においても確認を実施している。</p> 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：前年度は使用事例なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 薬剤師が未承認等を発見した場合の報告体制の確立 2) 薬剤師による病棟及び外来の月1回院内ラウンドの実施 3) 「医薬品安全使用のための業務手順チェックリスト」の改訂 4) 持参薬の一元管理による効率的な鑑別作業の運用 5) 入院前の服薬状況確認にて、術前休薬の必要な薬剤等の鑑別 6) 薬歴ファイルに基づくがん化学療法処方監査の徹底 7) 入院・外来化学療法患者に対する注射用抗がん剤の調製と服薬指導 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 131回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 新しい医療機器の導入時の研修 新規の医療機器を導入する際には、使用予定者に対する研修を行う。</p> <p>2) 特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる医療機器に関する研修 以下の医療機器について、年間各2回以上、当該医療機器に携わる医療従事者等の従業者に対し、①医療機器の有効性・安全性に関する事項、②使用方法に関する事項、③保守点検に関する事項、④不具合が発生した場合の対応に関する事項、⑤使用に関して特に法令上遵守すべき事項についての研修を行っている。</p> <p>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 (2) 人工呼吸器 (3) 血液浄化装置 (4) 除細動装置 (5) 閉鎖式保育器 (6) 診療用高エネルギー放射線発生装置 (7) 診療用粒子線照射装置 (8) 診療用放射線照射装置</p> <p>3) その他、必要に応じて医療機器に関する研修を行っている。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 以下の医療機器について、保守点検を行い、個々の医療機器ごとに①医療機器名、②製造販売業者名、③型式、型番、購入年、④保守点検の記録（年月日、保守点検の概要、保守点検者名）、⑤修理の記録（年月日、修理の概要、修理者名）を記録している。保守点検の実施状況を評価し、必要に応じて医療安全上の助言を行っている。また、保守点検の一連の手順について職員間で相互に確認を行わせ、保守点検の適切な実施の徹底を図っている。</p> <p>1) 人工心肺装置及び補助循環装置 2) 人工呼吸器 3) 血液浄化装置 4) 除細動装置 5) 閉鎖式保育器 6) CTエックス線装置 7) 診療用高エネルギー放射線発生装置 8) 診療用粒子線照射装置 9) 診療用放射線照射装置 10) 核磁気共鳴装置</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：無</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 医療機器の不具合情報や安全性情報等の情報を、日本医療機能評価機構、PMDA、メーカーから収集する。院内発生事例は、院内のインシデント・アクシデント報告により収集する。</p> <p>2) 収集した情報を医療安全定例会議で報告し、院内版の医療安全情報等で周知を行う。また、院内発生事例については、メーカーへ使用状況等の情報を伝えるとともに、医療機器安全性情報につきPMDAへ報告を行う。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は、病院長の命を受け医療安全管理部の業務を統括し、以下の業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全管理部の各種会議に出席し、統括すること <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理部定例会議（毎週1回） (2) 医療安全管理委員会（毎月1回定期及び臨時） (3) 事例検証会、MMカンファレンス（重大事例が発生した場合）等 2) 上記会議の決定に基づき、各部署に周知・改善依頼等を行うこと 3) 重大事例発生時の医療安全管理部としての対応を指揮すること 4) 病院運営会議等の院内の会議での医療安全にかかる決定事項を医療安全管理部に周知すること 5) 医療安全内部通報窓口への通報等を通じて、その他医療安全管理の適正な実施に重大な疑義が生じている場合に、必要に応じ、当該部署に指導等を行うこと 6) 医療安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務状況を随時確認し必要に応じて指導を行うこと 7) 医療安全管理に関する研修を定期的を受講し、医療安全への理解を深めること 8) その他、医療安全管理部の統括者として、必要な指導・調整等を行うこと <p>※平成二八年改正省令附則第三条第一号の適用を受け、平成28年10月1日より配置。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（4名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 指名した薬剤師（薬品情報室の薬剤師）に以下の業務を行わせ、定期的に報告を受ける。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内の医薬品の使用状況を確認する（月1回）。 (2) 未承認薬に関する情報は、PMDA未承認薬データベースや海外の添付文書等から収集する。 (3) 適応外使用に関しては、厚生労働省、社会保険診療報酬支払基金のウェブサイト、学会ガイドラインや論文等から、処方必要性や副作用等の安全管理に係る情報を収集する。 (4) 禁忌使用に関しては、学会ガイドラインや論文等から、処方の必要性や副作用等の安全管理に係る情報を収集する。 (5) その他、採用医薬品全般の添付文書の情報のほか、医薬製造販売業者、行政機関、学術誌等からの情報を広く収集する。 (6) 添付文書情報（禁忌等）の改訂、追加等はDIレターにて周知する（月1回程度）。 (7) 緊急安全性情報等が発出された場合は直ちに情報収集し、処方医や各診療科に発信する。 2) 1)の報告を踏まえ、医薬品の適正使用のために必要な情報を院内メールや書面により院内全体に周知する。必要に応じ、担当薬剤師に書面により周知状況を確認させる。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 使用状況の把握 <ol style="list-style-type: none"> (1) 未承認新規医薬品（当院で初めて使用する未承認医薬品については、医薬品安全管理責任者が、未承認新規医薬品担当部門の責任者・同評価委員会の委員として未承認新規医薬品審査手続に参加して、承認結果及び使用状況を把握する。 (2) 院内で定める手順に従い、未承認、適応外、禁忌を使用する際、医師は薬品情報室に連絡し必要に応じて申請を行う。 (3) その他の未承認等の医薬品の使用については、指名した薬剤師（調剤室又は注射調剤室所属の薬剤師、病棟薬剤師）が発見に努めさせる。指名した薬剤師が発見した場合は、「未承認・適応・禁忌医薬品使用報告書」により報告を受ける。 2) 使用の必要性等の確認、指導 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指名した薬剤師（調剤室又は注射調剤室所属の薬剤師、病棟薬剤師）が発見した場合は、当該診療科に対し、未承認新規医薬品使用申請（新規の場合）や臨床倫理審査申請（新規以外の場合）をするように指導させる。 	

(2) これらの申請がなされた場合、その審査手続の中で医療安全管理責任者が、申請者に対し、処方必要性や論文等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等を確認し適宜指導を行うことになる。

(3) 結果の共有

A 未承認新規医薬品の使用は、医療安全管理部定例会議、医療安全管理委員会で周知する。

B 薬剤部内にはメール、回覧にて周知する。

C 必要に応じて、指名した薬剤師（薬品情報室所属の薬剤師）に、院内全体に周知させる。

・ 担当者の指名の有無 (有 ・ 無)

・ 担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部調剤管理科，職種：薬剤師) 2名

(所属：薬剤部病棟薬剤科，職種：薬剤師) 1名

(所属：薬剤部薬品情報管理科，職種：薬剤師) 2名

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有 ・ 無

・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有 ・ 無)

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

事例報告に関連して説明等の実施にかかる診療録等の閲覧・当事者へのヒアリング等を行い、規程(要領)の遵守状況を確認し、不適切な事例が認められた場合は指導する。

※平成二八年改正省令附則第三条第一号の適用を受け、平成28年10月1日より責任者を配置。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 ・ 無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療記録管理専門委員会において、多職種で構成された監査人が毎月、診療記録の監査を行い、その結果をもとに報告書を作成し、病院長へ報告する。病院長は当該診療科長へ監査結果を通知するとともに、改善報告書の提出を求める。

診療記録の記載方法や記載すべき内容等については、診療記録記載マニュアルで定めるとともに、「委員会だより」を発行して医長会等での周知を行っている。

また、令和2年度よりICに特化したIC監査が開始され、同意書の取得状況や意思決定の支援状況などを点検し、医療安全管理部へ報告している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（9）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（4）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療の質・安全管理委員会等で用いられる資料の作成に関する事 2) 医療事故に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関する事 3) 患者や家族への説明など医療事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関する事。 4) 医療事故の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導に関する事 5) 医薬品に係る安全管理及び使用に関する事 6) 医療機器に係る保守点検及び安全使用に関する事 7) 医療事故防止対策に係る連絡調整に関する事 8) その他医療事故防止対策の推進に関する事 <p>心電図未判読率、脳波未判読率、目的外診断があったCT所見及びパニック値をモニタリングし、医療の質・安全管理委員会において報告している。医療安全職員全体研修会においては、講演内容の確認テストを実施し、従業員の医療安全の認識具合をモニタリングし、医療の質・安全管理委員会において報告している。</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>平成29年2月27日付けで高難度新規医療技術の提供に関する要領を施行した。令和2年度中に当該技術を用いた医療の提供を行いたい旨の申請は1件で、すべて適当と判断した。</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p>	

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
平成29年2月27日付けで未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に関する要領を施行した。
 - ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
 - ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年264件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年70件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
院内全死亡症例及び管理者が定める水準以上の事象（医療安全対策マニュアル「医療安全に関する報告基準」）該当例に関して医療安全管理部に報告された内容を、医療安全管理部定例会議（毎週1回開催）で報告・検討しており、その議事概要のメール配信（翌週）により、医療安全管理委員会委員が上記検討内容を確認している。また、定期の医療安全管理委員会（毎月1回開催）において、前月の「医療安全に関する報告基準」該当例に関して、再度確認を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：久留米大学病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：久留米大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
書面審査で実施したこともあり、技術的助言は、特になし。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
病院における患者、家族等からの相談、苦情、意見、要望等に対して、迅速かつ適切に対応するため、平成28年改正前医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の23第3号の規定に基づき、平成15年4月1日に患者相談窓口を設置した。相談窓口は患者サービス室地域連携・患者相談係が担当し、当該係には、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員を配置し、責任者は患者サービス室長をもってあてている。また、窓口の受付時間は病院外来診療日の午前8時30分から午後5時15分までとしている。患者相談窓口は相談等を受け付け、相談等の内容のうち窓口で対応できないものについては関係する部署へ取り次ぐとともに、当該部署からの回答、対応を得た後に相談者へ回答を行っている。また、相談等の内容で病院長に報告が必要な事例については、適宜その対応状況等を病院長に報告を行っており、さらに、医療安全管理部及び医療安全室と相談等の情報を共有するため、月2回ミーティングを実施し、必要に応じて医療事故再発防止、安全対策の見直し及び病院運営改善等に活用している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

従業者が連携、協働して医療を提供するために必要な知識、技能であって高度な医療の提供に必要な事項として、「病院内での自殺予防～自殺予防はみんなの仕事～」(令和2年度第1回)、「医薬品の安全な使用について」、「医療機器及び医療ガスの安全管理について」(令和2年度第2回)、「医療安全の中での褥瘡管理」(令和2年度第3回)について医療安全職員全体研修会で研修を行った。

また、「診療用放射線の安全利用のための研修」、「病院放射線業務従事者の実務概要」(令和2年度第1回)について診療用放射線の安全利用のための職員研修会で研修を行った。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

(管理者)

2021/1/17 2020年度特定機能病院管理者研修

(医療安全管理責任者)

2020/9/27 2020年度第1回「医療事故調査制度への医療機関の対応の現状と課題」研修会

2021/1/17 2020年度特定機能病院管理者研修

2021/3/14 令和2年度第1回医療事故調査・支援センター主催研修

(医薬品安全管理責任者)

2020/11/11 2020年度特定機能病院管理者研修

(医療機器安全管理責任者)

2020/11/11 2020年度特定機能病院管理者研修・研修の実施状況

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2019年12月16日～12月18日に公益財団法人日本医療機能評価機構が行う医療機関第三者評価「病院機能評価3rdG: Ver. 2.0(主たる機能: 一般病院3、副機能: 精神科病院)」の審査を受け、日本医療機能評価機構認定病院として認定を受けた。

認定期間/2020年4月25日～2025年4月24日

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

審査結果をホームページに公開している。

・評価を踏まえ講じた措置

感染制御部体制整備として、医師、薬剤師を増員した。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

- 1 人格が高潔で、学識が優れ、本学の設立目的に基づき、地域及びグローバルな視野と患者を第一とする姿勢からの医学教育、医学研究、高度医療に貢献できる医師であること。
- 2 高度かつ先端的な医療を提供する特定機能病院の管理者として必要な医療安全管理業務の知識・経験を有すること。また、医療安全を第一に考える姿勢から、管理者としての医療安全確保に対する指導力を発揮できること。
- 3 特定機能病院を管理運営する上で必要な運営及び経営の双方の資質・能力を有し、院内の多様な職種の意見を尊重し運営に反映することに留意できること。また、状況の変化に適切に対応し、中長期的な目標に向かい具体的な構想を示し、強いリーダーシップを持って運営・経営ができること。
- 4 本館耐震工事及び急性期棟新築のプロジェクトに対し、医療者と経営者の双方の視点からバランスのとれたリーダーシップを発揮し、プロジェクトを推進できること。
- 5 近隣の医療機関、医師会及び行政機関等と良好な関係を保ちつつ、本院が北九州医療圏において、地域医療の中核的役割を果たす使命を達成できること。
- 6 若松病院との良好な協調及び機能分化により、両院が一体となって地域医療への貢献を果たすと同時に、経営面でも両院の発展に寄与できること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (・ 無)

・ 公表の方法

管理者選考を行う年度にホームページに公開する

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の運営方針に関する事項</p> <p>(2) 病院運営に係る事業計画及び予算に関する事項</p> <p>(3) 病院の経営施策に関する事項</p> <p>(4) 医療に関する重要事項</p> <p>(5) 病院及び産業医科大学若松病院の運営に係る連携、連絡調整等に関する事項</p> <p>(6) 両病院の役職者等の選考に関する事項</p> <p>(7) その他病院運営に関する重要事項</p> <p>(8) 病院人事に関する事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 各合議体において、報告事項として資料、議事録を回付している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
田中 文啓	○	医師	病院長
松田 晋哉		医師	副院長
楠原 浩一		医師	副院長
平田 敬治		医師	副院長
大松 真弓		看護師	副院長
藤本 直浩		医師	副院長
古野 年裕		常勤役員	常務理事
田中 和寿		事務職員	病院事務部長
篠原 正行		事務職員	病院事務部長
矢寺 和博		医師	診療科長
山本 淳考		医師	診療科長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
 - 1 病院長は、医療法に基づく管理者として、理事長の命を受けて、病院の運営に関する次に掲げる職務を行う。
 - (1) 医療安全管理について、十分な知見に基づく高度な医療安全管理体制の確保に関する事。
 - (2) 高度かつ先端的医療の提供に関する事。
 - (3) 病院組織の総合的な把握と、これらを含めた適切な病院の管理及び運営に関する事。
 - (4) 高度の医療技術の教育及び研究に関する事。
 - (5) 学生、医師、医療技術職の医療に関する教育及び研修の実施に関する事。
 - (6) 地域医療機関との連携及び発展に関する事。
 - (7) 診療及び病院の運営等に関する諸記録の適正な管理に関する事。
 - (8) 病院に関する経営情報の把握と経営の管理及び改善に関する事。
 - (9) 産業医科大学病院総合医療情報システム等の維持及び管理に関する事。
 - (10) 病院の個人情報管理に関する事。
 - (11) 病院の事業計画、予算の策定及び管理に関する事。
 - (12) 病院職員への運営及び経営方針等重要事項の周知に関する事。
 - (13) その他理事長から特別に委任された事項
 - 2 病院長は、管理運営上、必要な意思決定を行うとともに、人事及び予算執行に関する適切な権限を有する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - (1) 副院長を5名置き、病院長の職務の補佐を行っている。
 - ① 総務・経営担当
 - ② 診療・安全等担当
 - ③ 体制整備・人材育成担当
 - ④ 看護・患者サービス担当
 - ⑤ 病院間連携担当（産業医科大学病院若松病院長）
 - (2) 財務部経営分析室において以下の業務を行っている。
 - ① 経営分析に関する事。
 - ② 経営分析に係る企画、調整に関する事。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - (1) 特定機能病院管理者安全研修の受講（副院長）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>管理者の下で医療安全管理責任者、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者の業務が適切に実施されているか医療安全管理委員会の議事や実地調査により監査を行っている。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/> ）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>産業医科大学病院ホームページ上に公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤田 昌樹	(学)福岡大学	○	医療に関する院外の専門家	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
押川 麻美	(学)福岡大学		医療に関する院外の専門家	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
大杉 一之	(大)北九州市立大学		医療を受ける者その他の医療従事者以外の院外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
阿部 慎太郎	(学)産業医科大学		病院長が指名する本学職員	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1
篠原 正行	(学)産業医科大学		本学病院事務部長	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

(1) 学校法人産業医科大学監事および監査室による内部監査を実施する。

【監査事項】

- ① 諸法規、学校法人の規則、規程、達等の実施状況
- ② 業務の執行及び経営の状況
- ③ 予算及び事業の執行状況
- ④ 資産の取得、管理及び処分に関する事項
- ⑤ 決算報告書及び財務諸表

(2) 監査の結果について、開設者に通知および報告する。

(3) 開設者は監査結果に基づき、改善等の措置の必要がある事項については管理者に業務改善等の措置を講じるように求める。

(4) 管理者は、速やかに対策、措置を講じ、その改善状況報告書を開設者へ提出する。

(5) 監事は、理事会その他重要な会議に出席し、意見を述べることができる。

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有 ・)
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校法人産業医科大学理事会 ② 学校法人産業医科大学学内役員会 ・ 会議体の実施状況（ ①年3回 ②年27回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（ ①年3回 ②年27回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 医療安全に関する内部通報のフロー図を医療安全対策マニュアル及び医療安全対策マニュアル(ポケット版)に掲載するとともに院内各部署に掲示している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>住民及び患者が当大学病院を適切に選択できるように以下の方法で情報発信を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none">1 病院ホームページを通じて、各診療科が担当する疾患の診断及び治療方法等の紹介、先進医療の紹介、がん診療実績の紹介2 がんに対する検診や治療方法などについて、専門医による講演を行う市民公開講座の開催3 新聞紙面での手術等の診療実績の掲載4 テレビ等への出演による治療方法の説明	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <ol style="list-style-type: none">1 がんセンターにおいて、部位ごとに関連する診療科が連携して、集学的治療を実施している。さらに、緩和ケアセンターと連携して緩和医療の提供、遺伝カウンセリング科と連携して遺伝子パネル検査、遺伝性腫瘍などのがんゲノム医療を実施している。2 総合周産期母子医療センターにおいて、ハイリスク妊娠管理、大量出血、DICなど集学的治療が必要な症例に内科、小児科、産婦人科、外科の専門医が連携をとって治療を行っている。3 血友病センターにおいて、個々の患者が抱える問題を多面的にとらえ、テーラーメイドの医療を提供できるよう内科（小児科）、整形外科、リハビリテーション科、歯科・口腔外科の担当医による毎月の総合診察外来の実施、また、患者の各科治療・処置・検査における止血管理において各科と連携・協働し治療を行っている。4 脳卒中センターにおいて、脳卒中血管内科、脳神経外科、脳神経内科、放射線科、リハビリテーション科、並びに救急科の専門医が、急性期医療を適切かつ効率的に提供し高度で包括的なチーム医療を行っている。5 呼吸器病センターにおいて、各科の専門性を最大限に生かした「集学的治療」を提供するため、呼吸器・胸部外科、呼吸器内科、放射線科、放射線治療科、緩和ケアセンターなどの各領域の専門医、看護師、薬剤師、事務職員が合同で、胸部CT、MRI、超音波検査、FDG-PETなどの画像診断や内視鏡検査、病理診断、社会環境などの情報を共有のもとに診断・治療戦略を立てたうえで、拡大手術や低侵襲手術、外来および入院化学療法、放射線治療や緩和照	

射、緩和ケアなどを積極的に行っている。特に化学療法の際には、抗癌化学療法の専門医、薬剤師、専門の看護師が連携して治療を行っている。また、呼吸器内科医でもある緩和ケアセンター専従医師により、歯科評価を含めた緩和ケアも提供している。

さらに、肺炎、肺真菌症、肺非結核性抗酸菌症、気管支拡張症などの難治性呼吸器感染症に対しても、分子生物学的手法などの先進的な手法を含めた積極的な原因菌検索とそれに基づいた適切な抗菌化学療法を実践している。また、気胸、膿胸や治療抵抗性の肺非結核性抗酸菌症などに対する外科的治療も積極的に行っている。

6 四肢外傷センターにおいて、救急科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、集中治療部、感染制御部、手術部などの各領域の専門医が、合同で診断および治療を行う体制をとり、多発外傷に対する治療処理と全身・局所状態を確認しながら段階的な四肢外傷治療を行っている。

7 就学・就労支援センターにおいて、治療と就学・就労の両立支援について、支援を希望する患者に対して、主治医と全ての診療科に配置している両立支援科兼任医師、両立支援科、就学・就労支援センター所属の多職種（看護師、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）からなる両立支援コーディネーターが協力・連携して患者との面談等を行い、就労復帰の条件等を示す「意見書」を作成している。また、社会復帰の観点から、薬剤師や療法士、栄養士などもカンファレンスに参加している。